

## データベース部門

## データベース部門について

データベース部門長/工学部 金丸 邦康

データベース部門は平成 16 年 12 月情報メディア基盤センターへの改組に伴って設置されました。現在、データベースは大学の高度情報化推進や IT ガバナンスの充実のために欠かせない重要な要素になっています。そこで、私たちは以下のような活動を通じて、データベースの活用促進を図ってまいります。

- (1) 学内データベース（主に学術系）についての情報活用推進
- (2) データベースに関する設置等の技術相談
- (3) データベース活用のための情報収集（各種講演会・シンポジウム・学会等への参加）
- (4) 個人情報認証に係る技術支援や研究開発に関連した活動

昨年度のデータベース部門の主要な活動は以下のとおりです。

活 動	概 要
データベース部門会議	平成 19 年度は 6 回実施しました。
学内の学術系データベースの調査	学内外に対して公開されているものについて調査しました。
認証基盤の要素技術及び先行事例の調査	国立情報学研究所の推奨する大学統合認証基盤（UPKI）や各大学が独自に導入した統合認証基盤について研究会などに参加し調査を行いました。
情報セキュリティに関する最新動向調査	情報セキュリティの技術、管理・運用、ルール整備やサービス展開等についての最新動向を研究会などに参加し調査しました。
情報メディア基盤センター特別講演会開催	データベース部門が企画し、平成 20 年 3 月 3 日に開催しました。首都大学東京 瀬戸 洋一教授より情報セキュリティ教育についての先駆的な取り組みを御講演いただきました。

次のページからデータベース部門の個別の活動について紹介します。